

北川の通信

2011年10月9日

vol.90

赤トンボいっぱい
とんでるよ
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

公民館市民講座を実施！



フィールドワークのーコマ

東村山市公民館主催の市民講座で、北川かっぱの会のメンバー（清水、永島、櫻井他）が講師をつとめました。この市民講座は4回シリーズで、「ちょっとヘンだぞ 変化している自然環境」というテーマで、地球や地域の自然環境を見つめなおし、今後市民としてどう行動し、環境を守り育てていくのかを考えることを目的としたのです。8月末～9月末の日曜、午前4回開催されました。

第1回目と4回目は秋津公民館で座学の形で、2回目は北山公園と八国山緑地で、3回目は北川と多摩湖緑地、狭山公園でフィールドワークの形で行いました。聴講者は少なめでしたが、中学生も含めとても熱心に話を聞いていただいたように感じました。

地球環境を見つめなおす視点からは、まず地球温暖化による世界の自然環境の変化、また気候変動枠組条約、京都議定書、コペンハーゲン合意以降の流れ、環境省の中長期ロードマップなどを題材にして、地球温暖化対策の方向性について解説しました。

また、生態系の危機という切り口で、最近の世界の生態系の変化、エコロジカルフットプリント、ミレニアム生態系評価などの解説をした上で、生物多様性条約、COP10、名古屋議定書、生物多様性に関する国民行動リストなどを題材にして、生物多様性を守っていくための対策の方向性について解説しました。



また、地域（東村山）の自然環境を見つめなおす視点からは、市内のみどりや水辺環境の現状を解説した上で、環境保全や復元の方向性（市街地の緑、雑木林、農地、水辺環境ごとに）を解説し、また特に生物多様性の観点から、生物多様性の危機（人間の活動や開発による危機、里地里山など人間活動の縮小による危機、人間により持ち込まれた者による危機、地球温暖化による危機）、生物多様性の保全の取り組みなどを、豊富な写真などによりわかりやすく解説しました。



2回のフィールドワークでは、まず北川流域で見ることのできる魚類や水底生物、昆虫、鳥類、植物などについて解説しましたが、意外に豊かな自然が残っていることを認識した方も多かったのではないかと感じています。その上で、北川流域での多自然川づくり等（自然護岸化や魚道の設置、水量や水質の確保）や外来生物対策（オオクチバスやオオフサモの防除など）の現場を見学し、問題点の認識と環境の保全や復元をどうやっていけばいいのかを考えました。また、雑木林の保全がいかに重要であるか、また大変であるのか、市の施策や市民団体による下草刈りや枝打ち、落葉集めなどの実情について解説しました。さらに、市民活動の紹介ということで、北川の川そうじ（北川かっぱの会の吉田さんが説明）、狭山公園友の会の活動やイベント（狭山公園パークセンター矢口さんが説明）、多摩湖緑地の雑木林の維持・管理の紹介なども行いました。

最後の第4回目のまとめの時間では、聴講者のアンケート結果も踏まえつつ、地球温暖化対策や生物多様性、市内の自然環境（みどり、水辺）を守っていくために、市民としてどのような行動を行っていけばよいのか私案について解説しました。また、聴講者からのアンケート（意見や感想など）に対する見解についてお話をしました。



アンケート結果を踏まえると、今回の講座で地球温暖化対策や生物多様性、地域の自然を守っていくことについて、

より深く理解していただけたのではないかと感じています。

4回の講座を経験し北川かっぱの会としても大いに勉強させていただいたと感じていますが、これをきっかけとして、北川流域や市内の環境を保全していくことを、市や他の団体、市民とともにさらに強力に推進していきたいと思えます。聴講者、そして市の関係者の皆様方お疲れ様でした。今後も一緒になって課題解決のために行動していきましょう！



2011年 10月～12月 活動スケジュール

定例川そうじ 毎月第2土曜 9 - 11時

11/11、12/10(土)集合：北山小正門前

秋の北川クリーンアップ

10/16(日)10:00～12:00 北山小西側大関橋付近、精心幼稚園北・将陣場橋、宅部遺跡橋、または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。ゴム長靴・ゴム手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

北川のオオフサモ駆除

10/15(土)15:00～17:00 宅部遺跡橋集合。北川に繁殖している特定外来生物「オオフサモ」の駆除作業。ゴム長靴・ゴム手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

せせらぎの里多摩湖緑地



ワークショップ

(市+東村山の原風景を守る会主催)

10/15(土)10:00～15:00 多摩湖町自治会集会場集合。里山として維持管理等を考えていくためのワークショップ(多摩湖緑地の見学、草刈り等の体験作業、懇談会)。弁当、飲物、帽子、雨具など持参。雨天決行。

なお、11/19、12/17も開催。参加希望の場合は、北川かっぱの会にお知らせください(定員があるため)。

八国山緑地懇談会

(西武・狭山丘陵パートナーズ主催)

11/3(祝)10:00～16:30 午前八国山緑地を見学、午後は多摩湖ふれあいセンターで、八国山緑地の管理・運営について意見交換を行います。

かっぱウォーク

11/5(土)13:30～15:30 八国山たいけんの里集合。八国山たいけんの里自然部会のメンバーによるガイドで八国山を歩きます。特にキノコ類に詳しくなりたい人には必見です。雨天中止(かっぱブログに掲載)。

土曜講座 富士見+南台小

12/3(土)予定 野鳥観察会(空堀川)

12/17頃 年忘れかっぱウォーク

例年のクリスマス企画に代えて。詳細は次号で

かっぱ定例会

11/19(土) 15-17時 (MARU茫茫亭)
2月頃までの予定を検討します。

北山公園 メダカの学校

今、北山公園では、ショウブ田を中心にメダカが沢山見られます。特に今年は数が多いので、ショウブの株の間を少し注意して探すと、口から背中にかけて黒い形が目立つ3cm程の魚がすぐに見つかるでしょう。数匹～十匹程度の群れで泳いでいて、まさにメダカの学校。

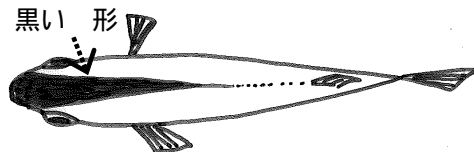
メダカは、里地里山地域の田園や小川に普通にみられた時期もありましたが、今では国から絶滅危惧2種（絶滅の危険性が增大している種）に、東京都からはさらに上のより絶滅の危険性が高い種として指定されています。ところが、実際は絶滅危惧種指定以後、都内でも各地で生息が確認されるようになってきているのです。これらは多くの場合、放流された移入個体由来であり、残念ながら北川や北山公園のメダカも同様と推測されます。

少し難しい話になりますが、他所産の生き物の放流は、生態学的に問題となる場合が多く、元々の遺伝子の多様性を残すためにも十分な配慮が必要なのは知っておいてください。

さて、北山公園でメダカがたくさんみられるのは、生息に適した環境があるためです。流れが弱く浅いために水温は高め、餌になるミジンコなどのプランクトンやボウフラ、植物などが豊富で、怖いのはヤゴやコサギ、人間位です。

ショウブ田の水は、10月末あたりからなくなるらしいです。乾燥に強いアカネトンボ類の卵や湿った土中であればなんとか生きられるドジョウはともかく、メダカを

捕りに行って、春まで里親になってみてはいかがですか？（康）



前の週末までの雨で天気が心配されましたが、晴天の下、多くの市民が参加し、楽しい夏のひとときをすごしました。

東村山市や市教育委員会、各市民団体、ボランティアなど、多くの方々のご協力を得て盛況の内に無事終了しました。なお、今年は電力使用の制限のためエレキギターやキーボード等を使用したバンド演奏は中止としました。関係者の皆様のご理解とご協力に感謝します。



イベントでは、はじめての試みであるミニセミナー「北川流域を外来生物から守る」で、オオクチバスやオオフサモなどの問題点についてアピールしました。北川ウォークは例年に比べ参加者数が多く、子どもたちが楽しく魚とりをしている姿が印象的でした。ザリガニ釣りでは例年とおり、北川や北山公園で親子でザリガニ釣りしている微笑ましい姿があちこちで見られ、八国山虫とりハイクでは大人も子供たちと一緒に楽しく虫を追いかけました。また、北川カヌー遊びは例年どおり、大人気でした。今年はカヌー愛好家の皆様方のご厚意により、シングル艇5艇での運用になりましたが、乗船を待つ長い列が途切れませんでした。

北山水族館では、大きなナマズや婚姻色に染まったオイカワなど、例年以上に興味深く見ていただいたと感じています（当日の魚類調査結果は8/21付かっぱブログを参照ください）。



紙芝居では縄文人とカヌーイストが楽しくお話し、草笛では草笛の吹き方を覚えた子どもたちが楽しそうでした。

今年の夏まつりは気温が高く、店の飲料や氷などもよく売っていたようです。ただ、15時半過ぎから大変な雷雨となり、雨に打たれながら後かたづけとなりました。

参加、協力いただいた皆様お疲れ様でした。来年もわんぱく夏祭りでお会いしましょう！





北山小 八国山虫とりハイク

7/16午前5時に北山小正門前集合で、毎年恒例八国山虫取りハイクが開催されました。今年は梅雨が早く明け、好天に恵まれての開催となりました。参加人数は子供17人、大人16人の総勢33人でした。

例年、樹液が出ていたクヌギの木が今年では出ていなかったり、新しい樹液ポイントが出来ていたりと散策をしたところ、数頭のカブト虫やノコギリクワガタが見つかりました。昆虫たちの本格的活動は始まったばかりの時期でしたが、賑やかで楽しい虫取りハイクになりました。(中)北山小・北川の魚とりと水底生物観察



9/10、9月とはいえ、日差しが照りつける暑い中、ガサガサによる魚取りに挑戦しました。網の使い方になれてない子には、魚のいそうなポイントや、網の使い方、足の使い方を教えました。網に

魚が入ったときは子どもの顔がパツと輝いて「やったね!!」今日の獲物は小さなオイカワ、モツゴ、フナ、ドジョウ、ヨシノボリ、ヌマエビなど。アメリカザリガニ、ウシガエルのおたまやかえるなども採れました。川から上がった後は、観察水槽に入れて、子どもたちに魚の種類を調べてもらいました。「この川にもいろんな魚がいるんだね。」とわかってもらえたと思います。その後、底生生物をファーブル(顕微鏡)で観察し、いる種類によって川の環境の汚れ具合が調べられることを話しました。このところ北川でよく見られるようになったプラナリアは目がかわいいので、やっぱり人気者でした。ちなみにこのプラナリアはきれいな水の指標になる在来種ではなく、「アメリカツノウズムシ」という外来種である可能性が高いです。子どもたちは川遊びに慣れていない子もいますが、みんな川に入ること、生き物と触れることが好きだなと思います。今回も自然に触れる機会を子どもたちに出来るだけ多く提供していくことの大切さを感じることが出来ました。

富士見・南台小 トンボとりと北川の魚

引き続き午後には、富士見・南台小の魚取り。北山公園から下流の方



でカサガサと大人数投網をしました。やはり魚が網に入るととてもうれしようです。

このグループは川あそびになれていて、どんどん自分たちでたのしみを見つけていきます。しまいにはみんなで石をならべてダムを造ったりしていつまでも川から上がってきませんでした。何ともまったりゆったりした時間を過ごしていて、それがまたいい感じでした。

最後に今日採った魚と底生生物をあずまやで観察。ヒル、プラナリア、ガガンボの幼虫などが人気でした。住んでいる生き物の種類を調べることによって川の環境の汚れ具合が分かることを説明し、講座を終えました。(久)

富士見・南台小 トンボとり

9/10、北山公園でテーマはトンボ、なかでも赤トンボに焦点を当ててみましたが、連日の30 超の暑さのため赤トンボが全く見られません。赤くても分類上赤トンボに含まれない、赤トンボもどきのショウジョウトン



ボは若干見られましたが。

圧倒的に多かったのはシオカラトンボですが、メス

(いわゆるムギワラトンボ)はあまり見られません。講座を始める前は全く虫を触ることができなかった女の子が、終わる頃には楽しそうに自分で虫捕り網からトンボを取り出すことができるようになったのがこの日の最大の収穫でした。



北山小 トンボとり

9/24南台・富士見小と同様にメインテーマは赤トンボで、北山公園で行いました。数日前から気温が急激に下がったため、たくさんの赤トンボが見られました。しかし、そのほぼ100%が避暑から戻ってきたアキアカネです。北山公園では10種近くの赤トンボが確認されているのですが、彼らは一体どこに行ったのでしょうか？ ただ、アキアカネは捕まえるのが比較的簡単なので、子ども達はたっぷりトンボとふれあうことができました。

(ビー永島)

アキアカネ



インフォメーション

北川のオオフサモ駆除

9月3日に開催された「北山公園整備計画意見交換会（通称「川端会議」）」で、北川に繁殖するオオフサモの駆除について意見交換を行いました。市役所から、北山公園内でもオオフサモが繁殖していること、また試験的に重曹を用いて駆除していくことが提案され、9月10日以降、北川も含め試験的に重曹を散布し観察を続けています。10月15日(土)には、重曹散布の効果を観察するとともに、一部の区間について駆除活動を行う予定です。皆様方の参加をお待ちしております。(P3参照)

北川かっぱの会 会議日程

定例会 11月19日(土)15~17時
MARU 茫々亭 12月~2月頃までの活動予定を中心に検討します。

編集後記

原発事故以来、自然再生エネルギーへの転換が叫ばれている。しかし、イコール自然にやさしいにはなっていないことが気になる。また、公民館での市民講座を聴講して、いかに日本のエネルギーや食料、水の消費が世界平均をはるかに超えていることを改めて学んだ。地球に負荷をかけること、省エネから進んで小エネへ、個々のライフスタイルの見直しとともに、水、空気、自然の価値を経済的に評価する仕組みが必要であると感じた。

(遊星歯車)



かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

会費 年間3000円

「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。

問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店(普)

3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



匿名で2万円の寄付をいただきました。深謝。

かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップ - 未来の川へ - 』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

発行 北川かっぱの会 東村山市
野口町 TEL 042-395-7705 渡辺